

■インドネシアについて■

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

3月は、1月下旬・2月にかけて企画や講師を務めさせていただいた「島根ものづくり企業海外展開勉強会」のオプション企画であるタイ・インドネシア・視察に同行させていただきました。私が住むタイとは同じ東南アジアですが、ジャカルタは宗教をはじめとした文化やインフラ状況の違いなどが顕著で興味深かったです。また、参加者には、タイ・インドネシアの2国を比較することで、成長している東南アジアの市場実感のみならず、現地の理解を深め、興味をもって頂くことで東南アジア進出を考えるきっかけになればと考えております。

そこで今回は、インドネシアの概要について簡単に紹介させていただきます。視察で感じた事については、次月以降で随時紹介させていただく予定です。

【インドネシア基本情報】

データ出所：外務省ホームページ

1. 正式国名：インドネシア共和国（Republic of Indonesia）
2. 人口：約 2.49 億人
3. 国土：約 189 万平方キロメートル（日本の約 5 倍）
4. 首都：ジャカルタ（人口 997 万人）
5. 気候：赤道直下のインドネシアは熱帯性気候に属し、乾季と雨季に分かれる。



乾季（4月～10月） 雨季（11月～3月）

6. 民族：大半がマレー系（ジャワ、スンダ等約 300 種族）
7. 宗教：イスラム教 88.1%，キリスト教 9.3%（プロテスタント 6.1%，カトリック 3.2%）

ヒンズー教 1.8%，仏教 0.6%，儒教 0.1%，その他 0.1%

国民の多くがイスラム教ですが、他の宗教も認められているためいわゆる

イスラム国家ではありません。

～世界第四位の人口 消費市場の潜在力／多様性の国～

ご存知ない方が多いですが、実はインドネシアは世界第4位の人口を有する大国です。そのため、日系企業の進出目的の9割がこの大きな消費市場を狙ったものとなっています。

また、インドネシアはなんと13,000を越える大小の島で構成されており、西のスマトラ島から東のニューギニア島までの東西の幅は、5,100kmでありアメリカ大陸を上回ります。民族の数も上述のとおり多く、使用されている言語も250種類に及ぶと言われています。海上に散らばる広大な国土に多くの種類の民族が住んでいる多様性の国となっています。

実は、首都ジャカルタのあるジャワ島は、全国の僅か7%程度の面積でありながら、全人口の60%近くが集中しています。そのため、インドネシア進出を考える場合は、インドネシア全体というよりジャカルタ周辺の1.4億人へのアプローチという考え方が正しいかもしれません。

過密が進むジャカルタでは、渋滞で有名で

私の住むバンコクよりひどい印象を受けます。

しかし、交通インフラが整備されていないため、

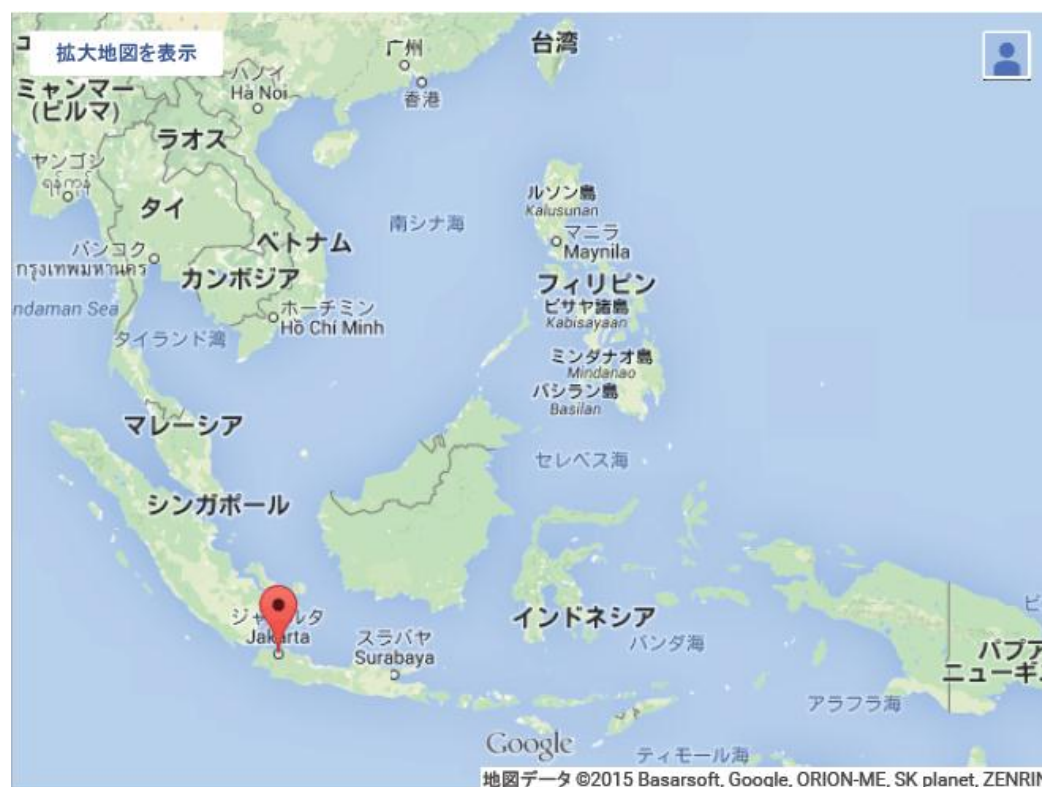
車両を利用して移動するしかないので視察等で

ジャカルタを訪れる際は、時間に余裕をみて

プランを立てる事をお勧めいたします。



インドネシアの地図



☆☆タイから便り☆☆

～渋滞～

ジャカルタの渋滞もひどいですが、バンコクでも車に乗ると必ず体験できるものが、『渋滞』です。視察や展示会でタイに来られた企業様も直面し愚痴を聞くことも多くあります。

そこで、今回は様々な人が語るバンコクの渋滞の原因を私なりにまとめてみました。

渋滞ですから、単純に車の数と道路面積においてミスマッチ（車の数が多い）が起きている事に尽きます。

では、なぜ車の数が多くなってしまうのか。

東南アジア各国で起こることですが、人口（車を購入できるような所得層）が首都に集中している現状があります。首都バンコクの人口は約800万人です。タイの人口は約6,300万人ですから、全人口の13%が国土の3%であるバンコクに集まっています。

また、人・車の集中だけでなく、バンコク独特の道路・交通事情も渋滞の原因となっていると感じております。

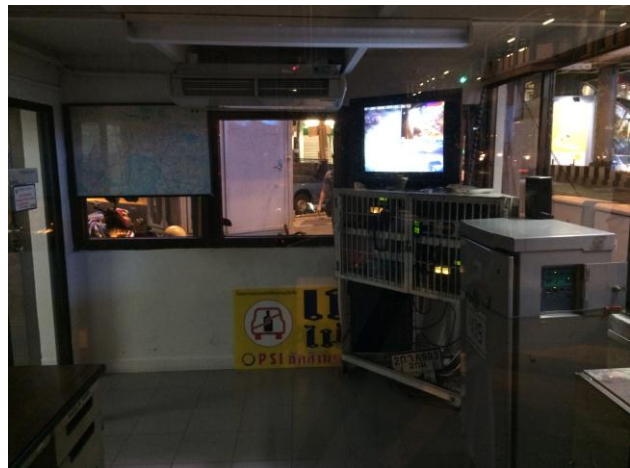
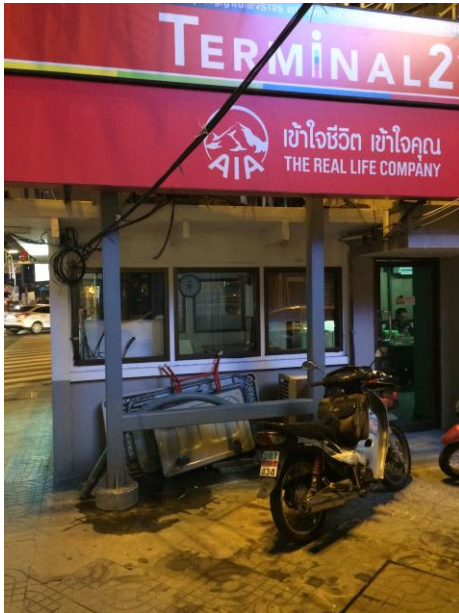
バンコクは、以前より外交がうまく東南アジアで唯一諸外国に侵略・占領された事がない国となっています。第二次世界大戦時は空襲の被害にあったり、幹線道路の整備は進んでいますが、主要地区でも、昔のままの姿（細い路地）も多く残っております。

バンコクでは、小路のことをSoi（ソイ）と呼びますが、このSoiがなぜか行き止まりが多いです。バンコクの地図を見ていただければ、一目瞭然です。そのため、限られた抜け道しかあらず、移動には幹線道路を通るほかしかなく、車が集中してしまいます。

これは、私も同僚と話していて初めて知ったのですが、大都会バンコクでも多くの交差点で派出所（詰め所）みたいな場所に警官が駐在して、信号を手動で切り替えています。ウソみたいなホントの話です。つまり交差点でそれぞれの警官が好き勝手に各車線の信号を切り替えているのです。時には、交差点のある車線では10分以上も赤のままで、他の車線だけが順次流れていくようなことにも出くわします。どう考えても周辺の他の信号と連携して動かしているようには見られません。こんな状況になっても、それほどクラクションを鳴らしたりしないのがタイ人の良いところかもしれません。ある一定の地域の交通量をトータル的に制御するのではなく、交差点毎に制御することになるので、交通信号間の連携が取れないことが渋滞の原因となっていると思います。

人・車が集中しているという大原則の背景に加え、抜け道がないため、道路の選択肢が少なく、交差点毎に感覚で交通量を制御しているというバンコク独特の道路・交通事情が渋滞の発生原因です。

主要な交差点にある詰め所



島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当 ; 藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D,Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2012	2013	2014	2015
GDP 成長率	前年比ベ(%)	6.7	2.90	0.7	0.7(14年)
人口*	千人	68,035	68,382	67,065	67,065(14年)
労働者の数*	千人	39,821	39,808	38,963	38,010(1月)
失業率**	%	0.66	0.72	0.84	1.06(1月)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	300	300	300	300
チョンブリー		273	300	300	300
アユタヤー		265	300	300	300
ラヨーン		264	300	300	300
賃金:全国製造業の平均	パーツ	10,159	11,066	12,074	12,659(1月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	3.00	2.19	1.90	▲0.41(1月)
中央銀行政策金利*	%	2.75	2.25	2.00	2.00(2月)
普通貯金率**	%	0.75	0.68	0.59	0.83(2月)
ローン金利(MLR) **	%	7.29	7.16	6.96	6.94(2月)
SET 指数*	1975年:100	1,391.93	1,298.7	1,497.7	1,587(2月)
パーツ/100円**	パーツ	38.98	31.53	30.77	27.59(2月)
パーツ/米ドル**	パーツ	31.08	30.73	32.48	32.65(2月)
円/米ドル**	円	79.79	97.6	105.84	118.4(2月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,428,628	1,337,631	884,346	70,239(1月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,262	2,016	1,662	463(1-2月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	983.9	1,027.3	729.4	115.3(1-2月)

*期末、**平均